

令和3年度 林業普及週間現地情報(2/28～3/4)

森林管理課

首里城復興に係る後継木の苗木づくりイベント

2月28日(月)

令和4年2月28日、国頭村立安波小学校において、沖縄県、一般社団法人美ら島財団及び国頭村森林組合は、「首里城正殿にて活用が予定されているオキナワウラジロガシが国頭村から調達される事を念頭に、地域の子供たちと後継木の苗木づくりを行い、首里城復興への思いを共有する場を創出する」ことを目的に、安波小学校、安田小学校、奥小学校の児童約20名を対象にオキナワウラジロガシの苗木づくりイベントを実施した。

県森林管理課からは木材の循環利用や国頭村と首里城のつながり、首里城再建に使われたオキナワウラジロガシ等の説明を行い、生徒から「首里城にはどのくらい大きさのウラジロガシが使われるの？」や「ウラジロガシのどんぐりは食べれますか？」等の質問が挙げられるなど、多くの生徒が関心を持った様子が伺えた。

また、後継木の苗木づくりでは国頭村森林組合職員が指導を行い、生徒は楽しそうにコンテナへの土詰めやタネを植え付けを行い、事前に行ったメッセージラベルとつけ、植えた苗木が大きくなるように願いを込めていた。

今後も引き続き、森林の役割や林業、木の文化への理解を深め、木の良さやその利用の意義を学んでもらえるよう取り組んでいきたい。



写真-1 普及指導員による木育講座



写真-2 国頭村森林組合による苗木作りの説明



写真-3 普及指導員による苗木づくり指導



写真-4 記念撮影

(報告者：森林管理課 仲里、北部農林水産振興センター 玉城)